

# 意外な 当社製品を紹介します

本企画では、「この会社、こんなものも作っていたんだ！」  
主力製品とは異なる分野、用途で活躍する意外な製品を紹介します。

## イナバゴム 株式会社

所在地：大阪府大阪市西区京町堀3丁目3番15号

設立：1963年 12月

資本金：8,600万円 従業員数：168名

主力製品：工業用ゴム製品、感圧導電ゴムセンサなどの  
開発・製造・販売

### 豊富な実績と確かな技術で 各種精密ゴム成形品の試作から量産まで

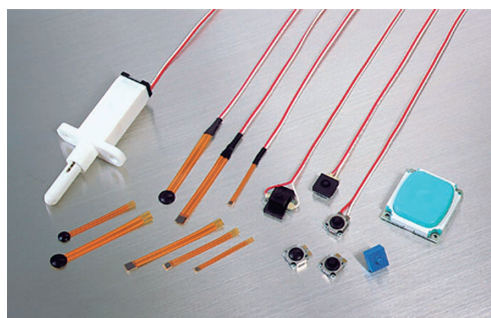


精密ゴム成形品



Oリング

創業から57年工業用ゴム製品の製造販売を手掛けてきました。特に小型精密のOリング、パッキン、ガスケット等のオーダーメイド品に注力し、需要先も大手エレクトロニクス、車載関連、空圧機器、住宅設備、医療機器等幅広く採用されています。



感圧導電性ゴムセンサ「イナストマー」

また、FEM解析サービスにより最適な形状設計、材質の提案を行いお客様の開発時間、コストの削減をサポートしています。独自の開発商品として、ゴムの弾性を生かし圧力変化により電気抵抗値も変化する感圧導電性ゴムセンサ「イナストマー」があります。ロボット、電子入力ペン、電子楽器等に採用され大阪大学産業科学研究所、長岡技術科学大学と次世代センサの開発を行っています。

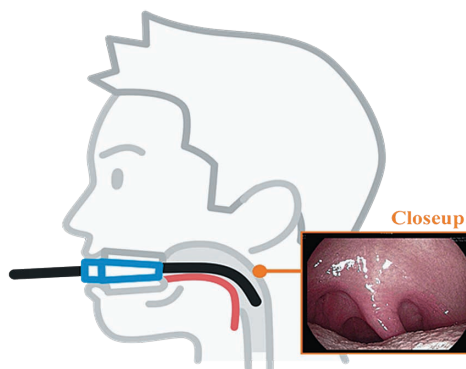
内視鏡検査の苦痛を軽減

# Gagless マウスピース

Gagless マウスピースは、鳥取大学とのいわゆる医工連携で開発した製品です。名前の由来は、「Gag」=「Gag reflex（咽頭反射）」が Less という意味です。

従来の内視鏡用マウスピースは前歯で噛んで固定しますが、この行為が「舌が盛り上がる反射」を引き起こし、咽喉が狭くなってしまいます。これらに着目し、馬蹄形で奥歯で噛みしめるマウスピースにしたことで舌は盛り上がりずに定常状態を保ち、咽喉が広がった状態での内視鏡挿入を可能にしました。これにより「オエッ」が軽減できるという仕組みです。

当社は、製品開発と並行し、この製品の医療機器製造販売の為に、「ISO13485」「医療機器製造業」「第2種医療機器製造販売業」をそれぞれ取得しております。



## 『Gagless マウスピース』を手がけようと考えられた背景を教えてください。

将来有望な医療機器分野への参入と独自商品開発を目指し、2014年度より当社の主力工場のある鳥取県にて、鳥取大学医学部附属病院主催「医療機器開発人材育成講座」に参加し医療現場のニーズを学ぶことからスタートしました。

そこでこのマウスピースのテーマが持ち上がり共同開発に着手、当社が形状設計・材料選定・試作品を、鳥取大学医学部で臨床試験を担当いただき、2018年11月無事上市することができました。内視鏡検査の苦痛を軽減できる画期的な商品であり、これから幅広く普及することで少しでも社会のお役に立つことができれば幸いです。

Gagless マウスピース開発により医療機器に対する体制が構築出来ましたので、更なる独自製品の開発と、精密ゴム製品の医療機器分野での拡販を目指してまいります。



代表取締役社長  
岡本 吉久氏